

ボックス型小物入れ

制作時間の目安：約90分

難易度：★★☆

完成サイズ

縦10cm×横10cm×高さ10cm

お菓子や文房具、ソーインググッズなど、何を入れるにも便利なボックス型の小物入れです。刺しゅうや飾り模様がアクセントに♪



使用する道具

- ミシン他、基本的なソーインググッズ
- 糸（縫い合わせ用、飾りステッチ用、刺しゅう用）

ミシンの機能

- 直線縫い
- 刺しゅう（刺しゅう押さえ：P）

材料

- 表布（帆布など厚手の生地）40×24cm

布を切り替える場合

表布A：40×12cm 表布B：32×12cm

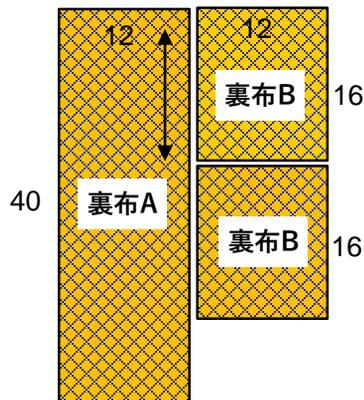
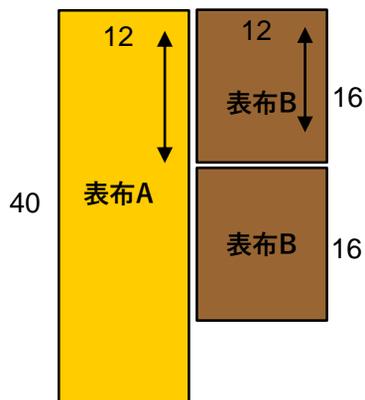
- 裏布（綿ブロードなど）40×24cm

- 刺しゅう用接着芯



基本的なソーインググッズ

裁断図 単位：cm 縫いしろ1cm込み ※特に表記のない場合は縫いしろ1cmで縫います

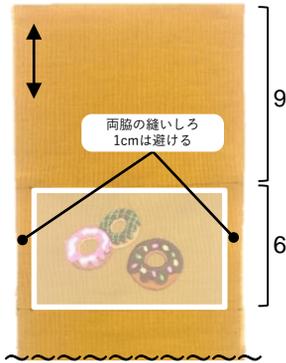


★特に表記のない場合は縫いしろ 1cmで縫います★

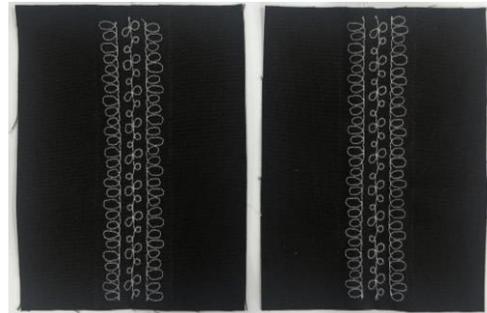
①表布にお好みの刺しゅう、飾り模様を入れる。

※刺しゅうミシンがない場合は手縫いの刺しゅうをするか、
①を省いても構いません。

☆表布Aに刺しゅうをいれる場合の刺しゅう範囲



☆表布Bに刺しゅうをいれる場合の刺しゅう範囲

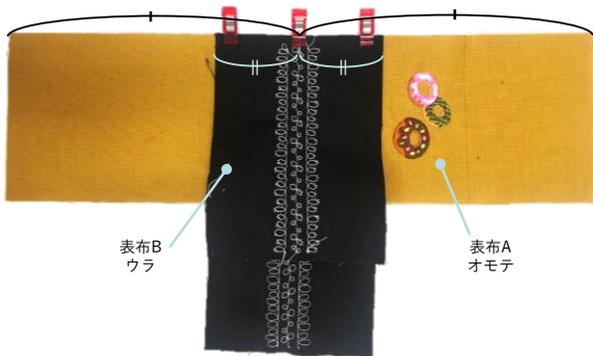


2枚のデザインを変えたり、
横やななめに飾り模様を入れても◎

②表布A・Bを縫い合わせる。

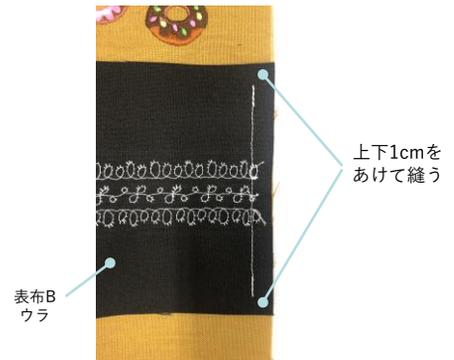
②-1

表布Aの縦の中心と、表布Bの横の中心を合わせ、
中表になるようにまち針やクリップで固定します。(両端に2枚)



②-2

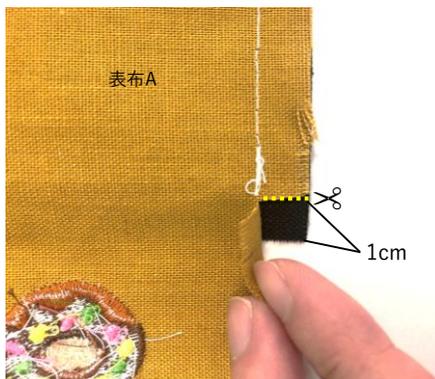
表布B側から、上下を1cmずつあげて縫います。
(左右2か所)



③ボックス型に縫い合わせる。

③-1

②-2で縫った縫い目に垂直になるよう、
表布Aの縫いしろに切り込みを入れます。(計4か所)
※縫い目を切らないよう注意する



③-2

切り込みを開き、表布Bに沿わせて計4か所を縫います。
⇒ボックス型になります。



★特に表記のない場合は縫いしろ1cmで縫います★

④裏布A・Bを縫い合わせる。



表布と同様に、裏布もボックス型に縫い合わせます。

※②-2の工程の際、片側に返し口を1か所(5cm程度)あけます。

⑤表布と裏布を縫い合わせる。

⑤-1

表布を表に返し、裏布の中に入れます。(中表の状態)
※表布Aと裏布Aが交差する向きで入れます。



⑤-2

縫い目を合わせ、口部分をぐるっと一周縫います。

▼縫いしろが互い違いになります
(表裏それぞれ布Aへ片倒しです)



▲袋の中(表布ウラ)をのぞきながら縫います。

⑥仕上げ

⑥-1

返し口から表に返し、表布の中に裏布を入れ、形を整えます。



⑥-2

返し口をとり、口を外側に4cm折り返したら完成!

